

コロナ・インフル予防策の両立で供給責任を果たします！

新型コロナウイルスとの戦いも3年目。ウィルスの正体や感染対策に関する情報が少ない中、市中の薬店からマスクや消毒液が無くなり、隣の石川県のグループ物流会社と融通し合った事もありました。

これまで社員に一人の感染者も出さず業務を継続出来たのは、社員が一体となって感染予防策を徹底し、日常生活や業務上の制約や不便にも不満を言わずに我慢を続けてきてくれたことの賜物です。

第7波の現在、感染者数は落ち着いてきましたが、同居家族の感染でも自宅待機（仕事が出来ない！）となるため、他の社員によるカバー配送が難しくなるこれからの繁忙期において、LPガスの安定供給を脅かす要因となり得ます。

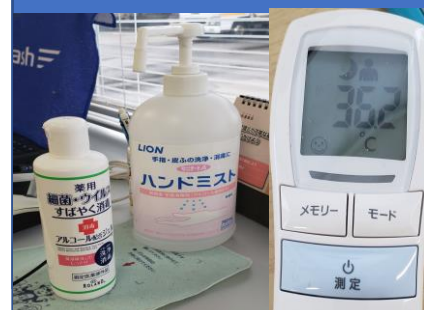
今年は、インフル流行が早めに到来するとの情報も聞こえてきており、2つの感染症対策を両立しつつ、LPガスの供給責任を果たして参ります。

わが社の感染予防策をご紹介します

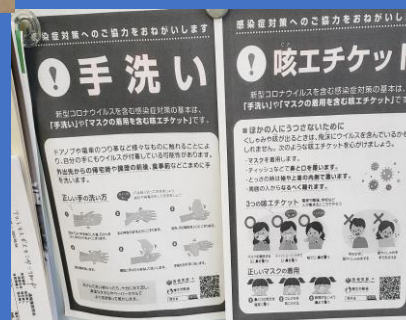
朝の出庫と夕の帰庫時、法令で義務付けの点呼を行います。その際、毎日の検温記録を欠かしません。



事務所への入・退室時は必ず消毒。配送車両にも消毒液を配置してまめに消毒します。



事務所内に感染予防策を掲示。同時使用人数の制限や、滞在時間も最小限に留めます。



エッセンシャルワーカーとしての誇りと責任感を胸に、今日もお客様のもとへ